



架け橋

八雲町立熊石中学校 学校通信 第 12 号
令和7年3月24日発行

校 訓
自主 (知) 協調 (徳) 壮健 (体)

学校教育目標

自ら学びを広げる賢い生徒 (知)
自他を尊重し未来を拓く明るい生徒 (徳)
活力あふれる心身共にたくましい生徒 (体)

E-mail : kumaishi-jh@town.yakumo.hokkaido.jp
TEL : 01398(2)3396 Fax : 01398(2)2446

熊石中ホームページはこちらから → <https://www.town.yakumo.lg.jp/site/kumaishi-jh/>



1年間ありがとうございました。 来年度もどうぞよろしく願いいたします。

校 長 田手 淳

現在熊石中学校では新年度に向けての準備が進行中です。その一つをご紹介します。今まで1名の担任が学級を受け持ち、副担任が補佐をする「1人担任制」を行ってきました。これを来年度は、複数の担任が学級を受け持つ「チーム担任制」に移行します。以下がその理由です。

○教師・生徒双方の相性について

担任と生徒の相性は、やはりそこは人間同士なので、必ず合うとは限りません。

また、教師がそう考えずとも生徒が苦手と感じる組み合わせもあるでしょう。もちろん苦手と感じる相手ともうまくコミュニケーションをとるようにすることが、社会性を身につけることにつながるのも事実です。

しかし、複数の担任で担当する方が、様々なことにきめ細やかに対応でき、生徒もより多くの人と接する機会を得ることで、思春期を迎えた生徒が人間関係について学ぶ機会が生まれることにもなり、個人相談などもしやすくなると想定しております。

○一人の教師に責任と役割が集中することを防ぎたい

担任の役割は多岐に渡ります。一人の教師がそれを担えば、時として準備不足になる分野がある可能性も生まれます。チームで役割を分担することで、よりよい指導ができるという点や、複数の視点で生徒に接することになり多視点化から、生徒対応の安定化を図ることができると想定しております。また昨今多く言われる働き方改革の一つとしても、一人一人の負担を分担することで、教師の授業準備等の時間の確保ことにもつながります。

○若い先生の育成にご協力いただきます

本校には、次代を担う若手教員も複数配置されております。この本校から教師を始めた教師陣が次の時代を担う教師となります。

しかし、小規模校のため、1学年1クラスの構成の学校では、担任は3名しか経験できません。このような環境で若手教員の経験値を高める工夫のため、職員が互いにサポートする体制を構築したいと考えます。

実は、今年度も朝と帰りの会、学活、給食時間、道徳や総合的な学習の時間は、学年担任と副担任が教室におりましたので、日常の学校生活が大きく変化するわけではありません。今まで実質的には学年チームで担当していたわけですが、来年度からは、それをさらに明確化しようというわけです。この試みは4月からスタートします。不具合は都度調整し改善したいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、今年度も地域の皆様、保護者の皆様には、たくさんのご理解、ご協力をいただき、熊石中学校の運営が成り立ちました。心より感謝申し上げます。また、来年度も、熊石中学校を何卒よろしく願い申し上げます。

